

# 広島みしま

町のすがた

(7月1日現在)

人口 男 3,349人 (+12)  
 女 3,534人 (+1)  
 計 6,883人 (+13)  
 世帯数 1,576 (+3)  
 ( )は6月1日との比較



第136号  
 毎月15日発行  
 定価1部20円

昭和54年7月15日  
 発行 新潟県三島郡三島町役場  
 ☎(025842) 代2221  
 昭和53年7月4日第3種郵便物認可  
 印刷 長岡市(株)中越タイプ社



## 走る。朝、夕10キロ

今はちよつとしたマラソンブーム。朝、夕走っている人も多いが、町のマラソンおじさん。として有名な小林繁さん(吉崎)は、このブーム以前から走り続けている人。「まる五年が過ぎました。それはもう、ごはんはおいしい、体の調子はいいで、いいことづくめ」と、朝と夕方の二回、強い雨の日を除いて十、前後のランニングを欠かしたことがないという。

小林さんはかつて、今の国体にあたる大会に新潟県代表のスキー選手として二回の出場経歴を持つ人。今月五十七歳の誕生日をむかえたが、今でも近郷のスキー大会に出場すると、毎日のランニングがいちばんの楽しみだという。

わが国での死亡の第一位は脳血管の病、第二位がガンなどの悪性腫瘍、第三位が心臓の病となっていて、その順位がこの二十年くらい変わっていません。

欧米諸国では心臓病が死因の第一位を占めているところが多く、昭和四十七年の統計によると、フランスはわが国の二五倍、オーストラリアは三・八倍、イングランドは四・八倍もあります。

わが国では、脳血管の病気が断然多いので心臓病は比較的問題にされませんが、虚血性心疾患とよばれる心臓の血管の変化を

## 心臓とからだ

原因とする心臓病が急速にふえてきて、このままだと大変なことになるように思われます。

もう一つ悪いことは、虚血性心臓病がだんだん年齢の若い人に多くなっていることです。

いまから数年前までは、六十歳以上でなければあまり多くはみられなかったのに、五十代、四十代さらには三十代の患者も多くみられるようになりました。

虚血性心疾患とは、心臓に血液を送る冠動脈がせまくなって心臓



の動きが悪くなったり、心筋そのものが損傷した状態をいいます。

具体的には狭心症と心筋梗塞とがあり、主に仕事中や運動中に、胸がしめつけられるような痛みをおこすのが狭心症で、まれには寝ているときなど、安静時におこることもあります。

一方、心筋梗塞は狭心症より激しく長い前胸部の痛みが続き、短時間で死亡することもまれではありません。

日本は心臓病の状態では欧米の十年あとも歩いているといわれていますが、どうも事実のようで、あまり有難い話ではありません。

ところで、七月二十一日から八月二十日まで「夏の交通事故防止運動」が行われます。

この時期は暑さが厳しく、夏休みに入ってから子供たちに気の緩みがあり、海や山への行楽で交通事故が多発するため、実施されるものです。

運動の重点は、①自転車利用者及び夏休み中の子供の交通事故防止。②飲酒運転、過労運転等の防止。③原付自転車、二輪車の事故防止。④シートベルト、ヘルメットの着用の推進となつていきます。

恐ろしい交通事故、十分気を付けてください。



決勝戦でも見事なヒットを打った斉藤君

## 主将、一番、左翼手 左腕だけの名選手

三島中学校野球部のキャプテンで一番の斉藤君(三年生)の打球が左中間、三遊間を抜けるたに敵、味方の区別なく、大歓声と拍手が沸く。それもそのはず、斉藤君は、野球選手としての「生命」とも言える右腕を、小さいころ、不治の病で失っているのだ。

その拍手も、決してセンチメンタルな同情の拍手なんかではない。守っては左翼手として、攻守にすぐれた活躍をする選手への、まぎれない賞賛の拍手である。

その斉藤君をチームリーダーとする三野球部は、六月の郡大会決勝で寺泊中学校を三対一で退け七月下旬に行われる中越大会へ、八年振りに駒をすすめた。そのと



稲田雄幸さん

## 町交通指導員 四人に増員

昭和五十年度にスタートした町交通指導員が今年度から一人増員され四人となりました。

新しく交通指導員をお願いしたのは新保の稲田雄幸さん(三)です。

稲田さんは「町の交通安全のため少しでも役に立てば」と、控え目に抱負を語っておられます。

なお、すでに指導員をお願いしているのは、片野朝男さん、棚橋誠作さん、木戸忠一さんの三人の方です。

## 今月の保健行事

月日	種目	対象者	ところ	とき
7.25	胃ガン検診	希望者	総合福祉センター	8:30~11:00
28	子宮ガン検診	"	"	"
8.8	乳児健康相談	生後3か月から1年未満の乳児	"	13:30~15:00
9	貧血検査	希望者(女性)	"	10:00~12:00 13:30~15:00
10	脳卒中リハビリ	希望者(車で送迎)	与保 板所 保健所	9:30~12:00
17	成人病検診(胸部結核およびガン検診)	大正4.4.1~昭14.3.31生まれの成人(希望者)鳥越地区	日吉 小学校	9:30~11:30 13:30~15:00
18	成人病検診(胸部結核およびガン検診)	同気比宮、藤川、宮沢地区	藤川集落開発センター	9:00~11:30
20	成人病検診(胸部結核およびガン検診)	同瓜生地区	瓜生 公民館	13:15~14:00
		同下河根川地区	下河根川 公民館	14:20~15:00
"	脳卒中リハビリ	希望者(車で送迎)	与保 板所 保健所	9:30~12:00

## 東西南北

### 増え続ける 少年非行

インペーターのゲーム代金ほしさに、友だちをおどしてお金をまきあげたり、万引をして知人に売ったたり。少年非行が相変わらず増加の一途をたどっています。

戦後の少年非行は、昭和二十六年を中心とする第一のピーク、三十九年の第二、そして四十九年から始まる第三のピーク期の「三つの波」があります。そして第三のピークは、年々増加を続け、昨年は過去十年間で最悪の記録となりました。

その背景には、少年をとりまく社会環境の悪化、享樂的風潮の増大、あるいは進学競争の落ちこぼれなど、さまざまな問題が考えられます。しかし、少年を非行に走らせるのも、思いとどまらせるのもやはり「家庭」ではないでしょうか。

子供に対する無関心、放任、話し合いの欠如などが親子間の断絶を生み、子供の不平不満を高め、その結果非行に走るというケースが多く見られます。

まもなく夏の行楽期に入ります。七月いっぱい「青少年を非行からまもる全国強調月間」も行われています。

「うちの子に限って……」という自信も結構ですが、この機会にあらためて、家庭でのコミュニケーションについて考えてみてはいかがでしょうか。

<h3>健康づくりテレビ番組</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「北から南から」 毎週土曜日午前11:00~11:15</li> <li>◇「はやおき健康教室」 毎週月~金曜日午前6:30~6:45</li> </ul> <p>※いずれも新潟総合テレビで放映</p>	<h3>胃がん検診</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇日時/7月25・26日 8:30~11:00</li> <li>◇会場/町福祉センター</li> <li>◇料金/1,000円</li> <li>◇申込/7月21日まで</li> </ul>	<h3>子宮がん検診</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇日時/7月28日 8:30~11:00</li> <li>◇会場/町福祉センター</li> <li>◇料金/800円</li> <li>◇申込/7月21日まで</li> </ul>
---	--	--



# 立派な町づくりは 有権者の自覚次第



四年に一度の町議会議員選挙「さすが三島町」と言われるような明るく、きれいな選挙になるよう、皆さんの協力をお願いします。

**告示**  
八月五日(日)

**投票日**  
八月十二日(日)午前七時から午後六時まで。

**選挙権のある人**  
一般的には、満二十歳以上の人で引き続き三か月以上町内に住んでいる人。

## 町議会議員一般選挙

八月末で任期満了となる町議会議員の選挙が来月行われます。

立候補予定者に対する説明会も七月十一日に終了、八月五日の告示をまつて、一週間の「選挙戦」が始まります。

町選挙管理委員会では、いま選挙の準備におおわらわですが、「違反、買収、供応など醜い選挙だけは絶対にやめてもらいたい。それには有権者の自覚と協力が、ぜひ

ただし「三か月」の基準となる登録基準日が八月四日と決められていますので、この日からさかのぼって三か月以上「住民基本台帳」に登録されていないければなりません。

投票日前日までに転出した人や公職選挙法に定める欠格事項に該当する人も投票できません。

**立候補できる人**  
満二十五歳以上の人で、今回の

選挙の選挙権を有する人。

**一般の不在者投票**  
投票当日、都合が悪く明らかに投票所に行ける見込みのない人は、五日から十一日までの間に不在者投票をすることが出来ます。

選挙期間中、選挙事務は役場分館で行なっていますので、不在者投票においでの際は、分館入口からお入りください。時間は午前八時三十分から午後五時までです。

**郵便による不在者投票**  
重い身体障害のため、外出が不可能な人のため、在宅のまま郵便で不在者投票ができる制度があります。

ただし「身体障害者手帳」または「戦病者手帳」の交付を受けておりかつ、重い障害のある人に限られます。そして、この制度による投票をするには、事前に町選挙管理委員会への申請が必要です。

とも必要」と、明るい公平な選挙を強く呼びかけています。

**ポスターの  
公営掲示場を設置**

今回の選挙から、ポスター掲示場の公営化が実施されます。



河内 武志 智  
町選挙管理委員長

三島町議会議員の一般選挙は、町村合併以来七回目の選挙となります。国や県の選挙も大切なことに変わりありませんが

町議会議員の選挙は、いざいざ身近の選挙だけに有権者の気持が複雑微妙にはたつき、一生懸命に考えられます。

告示は八月五日、投票日は八月十二日、議員定数は十八人です。そろそろ気分的に落ち着かない時期になってまいりましたが、有

## 明るい公平な選挙を

第一に、候補者の人がらをよく知り、これから四年間三島町のために、住みよい町になるように十分働いてくださる人であること。

第二に、有権者は必ず投票を行うこと。自分は主権者であること。を心におき、ひとり一人の自覚と高い政治道義を身につけられて投票に臨んでいただきたいこと。

第三に、「三島町」に協力して、金や物のかからない選挙にしてもらいたいこと。立派な自治政治をお願いする人に負担をかけるようにしていただきたい。

候補者はどんなときでも、選挙区内の人たちに物や金を贈ってはいけません。有権者は候補者や運動員から寄附などを求めたりはならない。贈られても受け取ってはなりません。

第四に、候補者は選挙のルールを守り、堂々と戦い、いやくも違反行為のため、他人に迷惑や取り返しのつかなくなる振る舞いはやめてください。

「みんなを選びましょう。人のために汗と涙を流せる人。」

**成人式**  
八月十五日町体育館で  
昭和三十三年四月二日から三十四年四月一日生まれの町中学校卒業生または、町在住者を対象に行われます。

受け付けは同日午前八時三十分から、開式は九時。

**塩之入トンネル**  
八月二十日から全面交通止と板北野線の塩之入トンネルが、改築工事のため八月二十日から十二月十日(予定)まで全面交通止めとなります。

大型車のかかりは、長岡出雲崎線が長岡寺泊線、小型車は寺泊寺泊線が町軽井上桐線となっています。くわしいことは与板土木事務所(☎三三二一八)におたずねください。

## わしらのゴルフじゃ

### レインボー事業にゲートボール



うまい、うまい、講習会の終るころにはかつこうもご覧のとおり

「こうやるんだかいたの」と、初めは恐る恐る? ボールを打っていたお年寄りたちも、講習会が終るころには「わしらにはいい運動だ。ゴルフみたいで結構いけるワイ」と、すっかりゲームのとりこになり、時間のたつのも忘れて一生懸命でいた。

「老人生きがい対策事業」に今年から取り入れられることになった「ゲートボール」という軽スポーツの講習

会が六月二十日、脇野町小学校グラウンドで行われました。

またの名を、レインボープランと呼ぶこの事業が始められて二年目、各種の趣味的な講座に加えて、お年寄りにも楽しいスポーツをと、計画されたものです。

ゲートボールは、数人で適宜な空地で楽しめるゴルフに似たゲームです。野球のボール大の木球を

マレーと呼ぶ木づちで打ってコート内に投げられたいくつかのゲート(関門)を通過させ、ゴールさせるものです。

町の中央まで出てくることで、きないお年寄りが対象だけに、セッとも十四組買そろえられ、それぞれ地区に持ち帰られました。各地区ごとに神社の境内などに集まって気軽に楽しんでもらうことになっていきます。

そして十一月には早くも「第一

と、農家全体にまだ戸惑いがあるのも事実です。

しかし、いち早く昨年から集団転作に踏み切った藤川地区、今年から秋そばの集団転作を実施することになった上岩井地区の試みはその混迷から抜け出す先導的役割を果たすものとして、各方面から注目されています。

藤川地区では、麦の集団転作百三十アールの前作に大豆を作っていますが、今年からそのうち四十アールに加工用なすを作付けしました。これにあわせ、上岩井地区でも集団転作とは別に二十アール同じなすを栽培しているのです。

両地区で収穫されるなすは、一括三条市内の加工業者に引き取られ、つけ物用などに加工されるということです。

一方、転作田初めての麦の収穫も六月八日から、中部農協が事業主体となって購入したコンバイン、乾燥機を使つて行われました。各ほ場で十アール当り四百以上の収量をあげ、採算的にもまず、まずと関係者を喜ばせました。

**方不明の人をさがす相談所**  
相談所が開かれます  
外出したまま行方がわからなくなった。家族や知り合いが家を出した。など、その後の消息が知らずお困りの方のため、「行方不明の人をさがす相談所」が、次の日程で開かれます。

◇八月三日(金)長岡警察署(☎三三二二二)

◇八月八日(水)三条警察署(☎二一三三三)以下略

各相談所には、身元不明の人の記録や持ち物などが沢山用意されています。相談においでの際は、なるべく本人の写真や、家出当時の状況のわかる資料(身体の特徴、服装、所持品など)を持参してほしいと警察では望んでいます。

なお、県警本部鑑識課では、(☎新湯二八一二二)年間を通じて相談に応じていますので、期日以後もご照会ください。

**第十一回簡保資金**  
写真コンクール  
郵便局では、簡保資金(簡易保険の資金)でつくられた施設を題材とした「簡保資金写真コンクール」の作品を次の要領で募集しています。

☆テーマ 簡保資金でつくられた施設を題材とする明るい作品。  
☆写真サイズ カラは四つ切り(単写真、組写真いずれも可)。  
☆作品の受付 お近くの郵便局。  
☆募集期間 昭和五十四年八月一日から十月三十一日。

三島町では、三島中学校、脇野町小学校体育館、上岩井児童公園、都市下水道などこの簡保資金が使われています。

なお、コンクールについてのくわしいことはお近くの郵便局におたずねください。

## 町を編む

11

かと思っている。戦後、郷土史の研究は学問的に飛躍的な進歩発達を遂げ、大いに日本の歴史に貢献するようになった。県内でもその意味で特に三島町が注目されてきたのである。

研究による三島地区の「我が家」の先祖のほとんどが、少なくとも数百年以上の家系を持ち、そ

## 郷土の誇りとは

### 葦沢 梧朗

の歴史の価値を知らず捨て去る人があるのは誠に惜しいことである。古いものが何でも良いとは限らないが、少なくとも各家に伝えられてきたものの中には、それなりの貴重な意味があるのである。それが何とけちをつけようか、大切

に保管整理し、後代に伝えて欲しいものである。

この保存活用の研究は、初めはささやかで地味なことであるかも知れないが、有志が首領をとり協力し、工夫を重ねて行くことが地方文化の発展の原動力となるのであるし、過去の三島町の輝かしい歴史も祖先の地道な努力によって伝えられてきたものである。

今、わたしたちは追い追いつけなすべく、生活に向かっている。次に「祖先に恥じることなく、子孫に良いものを残す」ということが、人間の価値というものではなからうか。



でん機も種も豆の  
機もコ(い  
の型(い  
新刈集  
上左で  
川

二年目をむかえた今回の生産調査は、集団転作やその定着化といった長期的な方向が示されているものの、いざ作目の選定となる

回ゲートボール大会」も開かれるという事です。

**各種講座等には**  
気軽にとなたでも  
現在、この生きがい対策事業の催しとして書道教室など五つの教室があり、約百人のお年寄りが最後のライフワークを楽しんでおられます。

このほかにも有意義な講演会や、楽しい催しが沢山あります。どなたでも参加はお気軽にどうぞ。